

新会長ご挨拶



会長 佐伯みち子(第4期)

そして支部役員の方々のご尽力にも感謝し、重ねてよろしくお願いを申し上げます。

さて、後援会の主事業には特別事業と地域別教育懇談会があります。まず、本年度の後援会特別事業は、平成十九年度までの二カ年継続事業として「サービスマスター購買部の改装(コンビニ化)」を实

山里では、田畑の緑も色濃く成長している候でしょうね。都会の深いビルの谷間にも、上から真つすぐ太陽が差し込み夏本番を感じております。後援会会員の皆様には日頃より、ご理解ご支援を賜り、心より深く感謝申し上げます。

先般五月二十一日開催の後援会定期総会において、平成十八年度第二十九代会長の任を仰せつかりました佐伯みち子と申します。

後援会史上初の女性会長ということで、重責を強く感じるばかりでございますが、お選びいただいたからには、歴代会長のご意志を引き継ぎ、我が子が通う大学の発展と隆盛のために、精一杯努力して参る所存で居りますので、何卒、会員皆様の格別なるご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。更に選任されました後援会役員・理事・事務局の皆様

部主催三会場で実施されます。

この地域別教育懇談会は昭和四十八年より行われ、保護者すなわち後援会、支部が主体で準備が進められます、まさしく会員の為の会であるといえます。支部においては支部長をはじめ支部役員の皆様方に大変なご苦勞をいただいております。そのご苦勞が報われるためにも

多くの会員にご出席いただき、個人面談もありますので、ご子息ご子女の単位取得状況等多くの事をお知り頂いて、又ご相談もされてお子様とコミュニケーションをとる糧として頂きたいと思っております。各学科の教授として会員同士じっくり話せる年に一度の大切なチャンスです。一人でも多くの方の参加をお待ち申し上げます。

来年度、学園は創立百周年を、大学は四十周年を迎えられます。記念事業の「百年記念館」が二月十七日に着工しました。この事業に対し積み立てをして頂いております会員の皆様には、お礼申し上げます。今後後援会は、学生の豊かなキャンパスライフ実現のため、事業を積極的に展開して参ります。会員の皆様方には、更なるご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健勝を御祈念申し上げます。

次に、地域別教育懇談会は本会が最も力を入れている行事です。本年度は九月に支部主催十九会場本

平成18年度 定期総会を開催

新会長には佐伯みち子氏(S4)が就任
去る五月二十一日(日)午後一時より、大學生友会館ホールにて平成十八年度後援会定期総会が開催されました。当日は二三名の会員が出席(委任状出席一八三名)。梅宮副会長(M卒・福島)を議長に選出して議事を進行了しました。

第一号議案「平成十七年度事業報告」を早坂副会長(E卒・宮城)より、第二号議案「平成十七年度決算報告」を倉島経理課長より、「同監査報告」を今井監事(A卒・岐阜)より報告。

続いて、第三号議案「平成十八年度事業計画案」を岩本総務(C



この後、引き続き学友会館では新旧合同の理事会が開催され、退任理事には柳澤学長より感謝状と記念品が授与されました。また、退任理事一同から大学に対し記念樹として「ヤエベニシダレザクラ」の目録が贈呈されました。

一方、一般の会員は、約一時間をかけて日頃学生が学んでいる施設設備を見学し、改めてその素晴らしさを認識しました。

午後四時、再び一同サービスマスター食堂に会し、全国から訪れた会員同士、また教職員と懇親を深める中、全日程を終了しました。

特色ある学びを推進し、 高い評価を受けています。



学長 柳澤 章

後援会会員の皆さま方には、いつも大変お世話になっております。本学は、現在、実践的な工学教育の充実を図り、積極的に取り組みを進めております。

昨年度「7つの工房によるカリキュラム」の養成・体験的実学教育「工学教育」が、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に採択されました。これは、すでにご存知の方も多くかと存じます。本学では、ただ知識を得るに留まらない、実践と一体になった工学理論の習得に努めてきた伝統があります。それが、文部科学省の目的は今日求められる工学教育の一つのモデルとして評価されたのではないのでしょうか。

現在、工房教育は入門的なプログラムも始まり、全部で14に増え、多くの学生が取り組んでいます。例えば、ミニサイズの旋盤を商品として通用するレベルのものを製作することで、切削の技術とともに、徹底して高精度を追求するプロとしての意識を養っています。また、コンピュータで金型を設

計し、プラスチック製品を製作する工房では、チームごとに製品を企画し、競争するなど、実社会を先取りする学びを実践しています。

工房の学びを、ある1年生は「入学した年から本物に取り組めるのがすごい」、ある4年生は「企業の最前線の技術者である先生から失敗談を聞けるのはとても貴重」と語っています。

この4月には「産学連携起業教育センター」を開設し、学生起業家育成支援プログラムを開始しました。担当しているのは、本学専門職大学院で社会人を対象に起業の講座を受け持っている教員です。ビジネスプランコンテストを実施し、学生の参加意欲を刺激していきます。

このようにして、ものづくりを習得し、ビジネスとして成功させる道筋を学ぶ中で、本学の学生諸君は社会へと大きく羽ばたいていくことでしょう。

さて、本学園は、来年には百周年を迎えます。後援会の皆さまには多大なるご支援をいただいております。百周年記念事業の図書館・情報複合施設「百年記念館」の建設も順調に進行しております。

どうぞ、本学へのご理解とますますのご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

新任理事研修会で大学を知る

六月二十四日(土)、大学において「新任理事研修会」が開催され



梅崎学生支援部長の解りやすい講義

ました。平成十八年度の新任理事は三十五名で、その内二十三名が出席し、大学について学びました。佐伯会長、柳澤学長のご挨拶の後、渡辺副学長・教務部長より「本学の教育上の特徴について」、梅崎学生支援部長より「学生生活および就職について」、藤田総務部長より「私立大学を取り巻く情勢について」学園の歩み」と題し、解りやすい講義を受けました。学内見学の後の懇親会では、ユニークな自己紹介で笑いと拍手が飛び交い、和気藹々とした雰囲気の中で、一日の日程を終えました。

六月二十五日(日)、大学学友会館において「支部連絡協議会」が開催されました。

会議は、小笠原地方事業委員長を議長に、全国より各支部長を始めとする代表者が、予め回答いただいた「地域別教育懇談会に関するアンケート」をもとに発言いただきながら進められました。

大学からは柳澤学長と大場入試室長にもご臨席いただき、支部長からの質問や要望に直接応えてくださいました。

支部の運営は、その会員数や範囲の大小、地域性等により、さまざまな問題や苦労を抱えながらも、楽しくやっていたいという前向きな姿勢が伺われました。

支部連絡協議会（支部長会） ～地域別教育懇談会の開催に向けて～

平成18年度 第1回理事会 を鬼怒川温泉にて開催 ～宮代会と合同で懇親を深める～

総会后、第一回目となる理事会が栃木県の鬼怒川温泉「花の宿松や」にて開催されました。

今回の会場選定にあたっては、栃木県支部が二十周年を迎え、その記念事業の一環として是非にと鷹簗支部長よりご誘致いただきました。

同日に後援会理事会のOBである宮代会の総会も開催され、懇親会は合同で行われました。

また、学園より大川理事長、大藤田総務部長、堀田図書館長にもご臨席いただきました。

さらに、栃木県支部役員の皆様にもオプザーバーとして多数ご参加いただき、総勢八十二名の盛大な懇親会となりました。



後援会初の女性会長となった佐伯会長は、艶やかな浴衣姿で華々しくおあいさつ。

平成18年度地域別教育懇談会開催日程一覧（予定）

開催日	主催	開催都市	開催会場	対象地域
9月2日(土)	蔵王支部	山形市	オーヌマホテル	山形県・宮城県
〃	北陸支部	金沢市	メルパルク金沢	富山県・石川県 福井県
〃	長野県支部	長野市	メルパルク長野	長野県
9月3日(日)	群馬県支部	前橋市	マーキュリーホテル	群馬県
〃	栃木県支部	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県
〃	千葉県支部	千葉市	ブラザ菜の花	千葉県
〃	茨城県支部	筑西市	ホテルつたや	茨城県
〃	近畿支部	宝塚市	ホテル若水	大阪府・兵庫県 京都府・奈良県 和歌山県・滋賀県
9月9日(土)	秋田県支部	秋田市	協働大町ビル	秋田県
〃	福島県支部	郡山市	清稜山倶楽部	福島県
〃	沖縄県支部	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県
9月10日(日)	山梨県支部	春日居町	ホテル春日居	山梨県
〃	青森県支部	青森市	青森国際ホテル	青森県
〃	東中国支部	津山市	津山国際ホテル	岡山県・鳥取県
〃	西中国支部	松江市	未定	広島県・山口県 島根県
9月17日(日)	東海支部	名古屋市	名古屋市民会館	愛知県・岐阜県 三重県
〃	新潟県支部	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県
〃	静岡県支部	静岡市	清水テルサ	静岡県
〃	本部(九州)	博多市	サンライフホテル1	九州
9月18日(月・祝)	本部(北海道)	札幌市	ホテルサンルート札幌	北海道
〃	本部(四国)	高知市	ホテルサンルート高知	四国
9月24日(日)	本部(近畿)	宮代町	大学	東京都・埼玉県 神奈川県

※岩手県支部の日程は、9月17日または18日の予定です。
 ※開催日及び会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部（支部のない地域は本部）より各会員宅に郵送されますので、そちらでご確認ください。



地域別教育懇談会の日程決まる

～親子の「コミュニケーション」のきっかけにしてください～
 今年も九月二日から九月二十四日まで、本会の最も大きな事業の一つである「地域別教育懇談会」が開催されます。
 この懇談会では、大学より先生方が直接、各地域の会場に出張し、大学の近況報告や教育内容、学生生活や就職について詳しく説明いただきます。また、参加される会員には、ご子息・ご子女の成績表をもとに、「個別面談」を行いますので、一対一で直接先生に相談ができるチャンスです。
 支部では早い時期より開催に向けての準備にご苦労されており、毎年、参加いただきました会員には大変好評を得ております。まだ参加したことのない一年生を始めとする会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようお願いいたします。

4支部で支部総会を開催



次の四支部において支部総会が開催され、支部長が交代しました。
 窪田会長（当時）より感謝状を贈られる武田前蔵王支部長

四月十六日 青森県支部
 新支部長 中屋敷光男（E3）
 五月十三日 蔵王支部
 新支部長 笹木 庄伍（S3）
 五月十四日 栃木県支部
 新支部長 鷹箸 憲一（A4）
 六月二日 福島県支部
 新支部長 鈴木 宏（E4）
 旧支部長には会長から感謝状が贈呈されました。一年間、大変有難うございました。新支部長には大変ご苦労をお掛けしますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

栃木県支部創立30周年記念式典を挙げる



鷹箸新支部長から柳澤学長へ「栃木文庫」の目録を贈呈

五月十四日（日）、「ホテル丸治」において、栃木県支部総会に引き続き「栃木県支部創立三十周年記念式典」が挙行されました。式典には大学より柳澤学長、藤田総務部長、飯島後援会事務局が、工友会より鈴木栃木県支部長と副支部長らが出席しました。



盛大に四寸樽で鏡開き

学園創立百周年記念事業として建てられる「百年記念館」に「栃木文庫」として図書を寄贈したいというお申し出があり、三十万円の目録が大学に贈呈されました。式典では鏡開きも行われ、盛大に創立三十周年を祝うと共に、これからの益々の発展を願い、祝杯を上げました。

「後援会をご理解 いただく会」を開催

入学式終了後、 新入会員を対象に

四月二日(日)の入学式終了後、情報工学科棟一階のマルチメディア室において「後援会をご理解いただく会」を開催しました。

支部のある地域では「新入会員説明懇談会」が開催され、出席した会員は後援会について知る機会があります。が、参加しなかった方や支部のない地域に在住の会員に対し、積極的に後援会の意義をアピールしていこうと理事会で決議された結果、はじめての開催になった次第です。

今回が初めての試みで、どれだけの賛同を得られるか正直見当が付きませんでした。が、日曜日ということもあって、二百名近くの新入会員にお集まりいただき、まずまずの成果が得られたのではないかと、会長を始め役員・事務局一同、安堵しました。

今後も「ご理解いただく会」を継続して行い、新入会員の皆様に後援会について知っていただき理解を深めていただく機会として、たくさんの方に出席してもらえよう、呼び掛けていきたいと思っております。

初の試みに二〇〇名が参加

「ご理解いただく会」は、窪田会長(当時)による挨拶から始まりました。関西弁独特の言い回しで熱弁を振るっていただき、後援会の意義と子供とのコミュニケーション等について、きめ細やかに



窪田会長(当時)から新入会員へ向けて熱いメッセージ



7月上旬現在の建設現場の様子

学園創立百周年記念事業として建設される「百年記念館」の起工式が3月17日(金)に挙行され着工しました。起工式には窪田会長(当時)も参列し、工事の無事を願う肅々と儀式が執り行われました。

現在、工事は上台部分がほぼ完成したところです。今後も会員の皆様には、進捗状況を本会報にてお知らせしていきたいと思っております。

「百年記念館」工事が着々と



前列左より
 財務 古家 富則 (C3秋田)
 総務 川島 敬司 (S3C3神奈川)
 会長 佐伯みち子 (S4東京)
 副会長 小笠原康雄 (S2新潟)
 監事 神戸 和幸 (E3三重)

後列左より
 副会長 岩本由紀夫 (C4神奈川)
 財務 知花 賢良 (C3沖縄)
 副会長 新渡戸 進久 (C4青森)
 監事 川村 龍雄 (M4茨城)
 総務 鷹蒼 憲一 (A4栃木)

五月二十一日の総会において十名の本部役員が選出されました。宜しくお願い申し上げます。

平成18年度本部役員のご紹介

交通事故を起こさない!! ～命の尊さを知ろう～



白バイによるデモンストレーション



ダミー人形を車ではねる体験をしてインタビューを受ける学生



エアバックの作動を体験

オートバイや自動車による通学の自粛を呼びかけていますが、止むを得ず利用する場合は、細心の注意を払うよう、ご父母の皆様からも子供たちに言い続けていただきたいと思っております。

学生諸君に警察が交通安全指導

大変残念なことに、年度末から年度始めにかけて、二人の学生が交通事故により尊い命を亡くしました。一人はオートバイ、もう一人は乗用車によるものでした。

これを受けて大学は、一瞬にして人の命を奪う交通事故の恐ろしさを学生諸君に再認識してもらおうと、警察による交通安全指導を実施しました。体育館前のロータリーにはたくさんの方が集まり、模擬体験などを積極的に受けました。

大学及び後援会では学生の交通安全による不幸を無くすために、

うと、警察による交通安全指導を実施しました。体育館前のロータリーにはたくさんの方が集まり、模擬体験などを積極的に受けました。

大学及び後援会では学生の交通安全による不幸を無くすために、

平成18年度後援会役員名簿（敬称略）

M（機械工学科）、E（電気電子工学科）、A（建築学科）、S（システム工学科）、C（情報工学科）
 地=地方事業委員（支部長） 特=特別事業委員 サ=サービスセンター連絡協議会委員
 ○印=委員長、サービスセンター役員

顧問	飯田薩男	元会長	埼玉県	〃	柿本千春	A4	山口県	〃	中山幸恵	S3	長野県
〃	星 新作	元会長	埼玉県	〃	地 木村雅彦	A4	秋田県	〃	野口 裕	S3	埼玉県
〃	森川大成	元会長	三重県	〃	木村直美	A4	群馬県	〃	増川利栄	S3	新潟県
〃	野田繁男	元会長	滋賀県	〃	サ 杉林民子	A4	東京都	〃	特 湯澤良雄	S3	長野県
〃	中野秀次郎	元会長	宮城県	〃	特 高地 高村和成	A4	静岡県	〃	特 小林正博	C3	埼玉県
〃	佐藤宗一	元会長	山形県	〃	サ 立花正男	A4	埼玉県	〃	野崎三枝子	C3	富山県
〃	沼尻芳治	元会長	埼玉県	〃	林 良恵	A4	静岡県	〃	増田 清	C3	栃木県
〃	原田敬司	元会長	東京都	〃	地 望月眞仁	A4	山梨県	〃	サ 早川 潔	M2	埼玉県
〃	秋葉一彦	元会長	東京都	〃	井上高嗣	A4	東京都	〃	林 忠夫	M2	千葉県
〃	富永京太郎	元会長	東京都	〃	地 菰武時光	S4	岩手県	〃	星 直志	M2	福島県
〃	金城英三	元会長	沖縄県	〃	竹村美喜雄	S4	埼玉県	〃	佐々木純一	E2	群馬県
〃	神山英一	元会長	埼玉県	〃	特 鈴木 稔	C4	茨城県	〃	仙北屋一	E2	秋田県
〃	田川鏡台	元会長	静岡県	〃	堀込勝廣	C4	群馬県	〃	長谷川秀夫	E2	東京都
〃	佐藤建夫	元会長	埼玉県	〃	山下茂樹	C4	富山県	〃	林 滋	E2	岐阜県
〃	佐藤登美雄	元会長	香川県	〃	芦田輝数	M3	岡山県	〃	増山茂樹	E2	栃木県
〃	滝口和喜	元会長	山形県	〃	地 北 宏	M3	石川県	〃	特 井出健次	A2	埼玉県
〃	寺嶋佳章	元会長	東京都	〃	北村 一	M3	山形県	〃	伊藤 茂	A2	大阪府
〃	窪田政幸	前会長	兵庫県	〃	土田静子	M3	茨城県	〃	伊藤正実	A2	山梨県
相談役	柳澤 章	学長	埼玉県	〃	特 永野正人	M3	新潟県	〃	小山内悟	A2	青森県
後援会担当 部長	藤田則夫	総務部長	埼玉県	〃	青木光一	E3	茨城県	〃	北口敬一	A2	石川県
会長 ○	佐伯みち子	S4	東京都	〃	桑野英俊	E3	福島県	〃	特 曾根美知子	A2	千葉県
副会長 ○特○	岩本由紀夫	C4	神奈川県	〃	瀧元敏夫	E3	兵庫県	〃	鶴谷 勉	A2	宮城県
〃	新渡戸道久	C4	青森県	〃	對馬博幸	E3	栃木県	〃	中島構治	A2	佐賀県
〃 ○地○	小笠原康雄	S2	新潟県	〃	特 地 中屋敷光男	E3	青森県	〃	西野秀樹	A2	北海道
総務 地	鷹箸憲一	A4	栃木県	〃	福浦廣行	E3	熊本県	〃	林加代子	A2	群馬県
〃	川島敬司	S3/C3	神奈川県	〃	特 地 浅野優治	A3	島根県	〃	宗片光春	A2	山形県
〃	渋谷龍美	総務課長	埼玉県	〃	赤羽恵津子	A3	静岡県	〃	特 濱田敬子	S2	東京都
財務	古家富則	C3	秋田県	〃	猪股松男	A3	栃木県	〃	磯貝栄一	C2	福島県
〃 地	知花賢良	C3	沖縄県	〃	特 遠藤義紀	A3	福島県	〃	大野雅彦	C2	高知県
〃	倉島清隆	経理課長	埼玉県	〃	斉藤博雄	A3	秋田県	〃	風間光子	C2	千葉県
監事 地	川村龍雄	M4	茨城県	〃	芝垣直秀	A3	山梨県	〃	門口 満	C2	千葉県
〃 特 地	神戸和幸	E3	三重県	〃	須川 浩	A3	群馬県	〃	中田仍一	M1	東京都
理事	木師正徳	M4	鳥取県	〃	住 宏夫	A3	岐阜県	〃	柏本喜久治	A1	大阪府
〃	柴山英一	M4	新潟県	〃	田村博之	A3	東京都	〃	杉本代宗次	A1	山梨県
〃	武田 功	M4	山形県	〃	手嶋 猛	A3	北海道	〃	高木茂樹	A1	神奈川県
〃 地	星 良吉	M4	新潟県	〃	中寄博昭	A3	和歌山県	〃	武知美徳	A1	愛媛県
〃	武藤裕一	M4	福島県	〃	地 仲原正一	A3	京都府	〃	鳥取雄治	A1	岡山県
〃	保川信晴	M4	千葉県	〃	中山晃一	A3	静岡県	〃	前田裕司	A1	和歌山県
〃	山田 章	M4	茨城県	〃	比嘉勝雄	A3	沖縄県	〃	松尾洋美	A1	青森県
〃 地サ	飯田正己	E4	千葉県	〃	藤井博康	A3	富山県	〃	池田行雄	S1	東京都
〃 地	鈴木 宏	E4	福島県	〃	茂木義明	A3	秋田県	〃	江木哲成	C1	埼玉県
〃	高橋善清	E4	栃木県	〃	地 横田幸男	A3	岡山県	〃	所千代子	C2/C1	埼玉県
〃	飛田和美	E4	茨城県	〃	小林寛勝	S3	長野県	事務局	飯島貴子	総務課員	埼玉県
〃	山口武文	E4	石川県	〃	地 笹木庄伍	S3	山形県				
〃 特	梅村孝男	A4	滋賀県	〃	澁谷幸雄	S3	青森県				

日本工業大学育英資金協賛芳名録

毎年、後援会会員の皆様には日本工業大学育英事業の募金に絶大なるご理解とご協賛を賜わり、厚く御礼申し上げます。ここに各位のお名前を掲載し、心より感謝申し上げます。

なお、ここに掲載しました方々は、平成十七年六月一日より平成十八年五月三十一日までにお振り込みされた方々です。

協賛者名 学生名 学科

静岡県

秋田県

船木 昭 良輔 電気

千葉県

飯田 茂男 義規 建築

茨城県

佐藤 正美 淳史 システム

山口県

門口 満 暁 情報

岡山県

中村 孝之 将人 システム

東京都

児玉 純 徹 機械

高見 勲 幸雄 情報

須崎 敬司 雅司 情報

神奈川県

金子 直樹 郁馬 システム

富山県

中村 巖 誠文 電気

永海 昇 誠 システム

横山 守彦 航平 機械

埼玉県

松澤 元 元就 情報

栃木県

赤荻 道則 健太 電気

新井 隆 圭一 機械

井出 健次 浩之 建築

富山県

庄子 茂 健太 システム

大貫 哲雄 龍哉 システム

開澤 俊之 将希 情報

小林 延好 智彰 情報

長野県

田中 耕民 友歩 機械

齋藤 健一 智一 システム

新潟県

中野 潤次 将 機械

滝田 正 祐介 電気

福島県

星 雅晴 規夫 システム

宮野 勉 誠 電気

宮林 昭 隆 情報

山形県

渡部 房喜 賢二 電気

矢作 春夫 智広 システム

山岸 吾一 拓也 情報

青木 政樹 政広 情報

深井 影壽 越 情報

敬称略、以上37名

後援会行事抄

平成十八年三月十日(金) 後援会
会報第七十一号発行

三月二十日(月) 学位記授与式

(後援会より卒業生に記念品贈呈―システム手帳)(大学院卒業生に記念品贈呈―修士課程には電波目覚まし時計、博士課程には名刺入れ)

三月二十四日(金) 教職員退職者送別会

三月二十五日(土) 会報新入学記念特集号発行

三月二十九日(水) 〳四月一日(土) 健康診断

平成十八年度

四月二日(日) 平成十八年度入学式(後援会より新入生に記念品贈呈―男子にはネクタイ、女子にはスカーフ)、後援会をご理解いただく会

四月三日(月) 専門職大学院入学式

四月六日(木) 授業開始

四月八日(土) 監査

四月九日(日) 役員会、理事会、特別事業委員会、銓衡委員会

四月十六日(日) 青森県支部総会(青森国際ホテル)

五月十三日(土) 蔵王支部総会(ホテル古窯)

五月十四日(日) 栃木県支部総会

会・三十周年記念式典(ホテル丸治)

相談票		学科学年	学籍番号
生名	員名	TEL	
学氏	会氏	連絡先	
<p>後援会では会員各位にこの相談票を通して、いつでも学生の成績・生活・就職等のご相談に応じられる窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談されたい事項や、ご意見・ご希望等をご記入の上、事務局宛にご送付下さい。可能な限り回答します。</p> <p>〔意見・ご投書・ご寄稿もどしどしお寄せください。〕(事務局)</p>			

相談票をご利用下さい

五月二十一日(日) 平成十八年度定期総会、銓衡委員会、理事会、新旧理事歡送迎会

五月二十七日(土) サービスセンター株主総会

五月三十日(火) 学生総会

六月二日(土) 福島県支部総会(清稜山倶楽部)

六月十日(土) オープンキャンパス

六月二十四日(土) 新任理事研修会

六月二十五日(日) 支部連絡協議会

七月七日(金) 役員会(日光)

七月八日(土) 〳九日(日) 理事会

計報

○建築学科二年の八城裕介君(福島県)が、平成十八年三月二十八日、交通事故により永眠されました。

○機械工学科二年の岩寄伸一君(埼玉県)が、平成十八年四月八日、交通事故により永眠されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。